



世界遺産CITY
宗像
Sacred Island of Okinoshima and
Associated Sites in the Munakata Region

むなかた タウンプレス

2019
平成31年
3 / 1
No.383



地島にカモン!

文化祭で披露するダンスのポーズを見せてくれた、漁村留学生の5人と、竹井ゆかりさん（上段右から2番目）。

漁村留学が「つなぐもの」

鐘崎漁港の目と鼻の先に浮かぶ地島は、人口約150人の小さな島。少子高齢化が進む島では、現在、小学生は10人。そのうち5人は漁村留學生です。

島の子どもの数が減っていく中、島で唯一の学校を存続させようと、平成15年に島外からの小学生を受け入れる漁村留学が始まりました。子どもたちは共に学び、遊び、時間を過ごすことで、互いに刺激し合い、成長して

島の優しさに育まれる留學生たち

「なぎさの家」で留學生のお世話をするのは、福岡教育大学の卒業生、竹井さん。食事、宿題、心のケアなど、優しく、時に厳しく寄り添います。留學生たちは、島の人と自然に見守られて、充実した毎日を送っています。

島最大のイベント椿まつりは、一年間の集大成を披露する大切な行事。「地島の人は優しく

いきます。「漁村留学を育てる会」会長の前田さんは、「学校はね、島の2つの集落をつなぐ情報共有の場でもあると思うんですよ。漁村留学は、子どもや島全体にとっても、今や必要な存在なんよ」と、漁村留学を続けることで地島を守っていくという気持ちで語ってくれました。



地島校区
漁村留学を育てる会
会長 前田浩昌さん

て大好き」と口をそろえる留學生たちは、島の魅力を伝えようと、パンフレットの作成や、ステージで披露する三線やダンスの練習など、来島者へのおもてなしに力を入れています。

人の温かさや慈しみの島、地島に遊びにきませんか。
閩 秘書政策課広報担当
☎(36)1055

椿まつり 3月9日(土) 10:00~15:00

地島は、約6,000本のやぶ椿が自生し、つばきロードが整備されています。今年のまつりは、島の豊岡地区（白浜港）をメイン会場に開催。ステージイベントに加え、特産品のワカメや名物の椿油ごはんなどを販売します。

●渡船/神湊渡船ターミナルから地島行き市営渡船で「白浜港」下船。所要時間約25分。片道400円



わかめの掴み取り
イベントも
開催

閩 大島行政センター ☎(72)2211

今号の主な内容

- 福岡県知事・県議会議員一般選挙……………②
- 人づくりでまちづくり・元気な島づくり事業補助金 ……③
- 情報ステーション……………④⑤
- ◆他団体情報◆ 事務組合だより…⑥⑦ エコパーク…⑧
- ユリックスサラダ(8ページ)…中心 体協だより…⑨
- 市民学習ネットワーク…⑩~⑬

宗像市公式ホームページ……<http://www.city.munakata.lg.jp/>
宗像市公式フェイスブック……<https://www.facebook.com/munakata.city>



市の木
「クスノキ」



むなかたタウンプレスは、常用漢字と新聞用字用語集を基本に、市独自の用字用語を定めて編集しています。また、市民のみなさんの居住地は、コミュニティ地区名で表記しています。

発行：宗像市 〒811-3492 福岡県宗像市東郷1-1-1
代表：☎0940(36)1121 FAX0940(37)1242